

エコアクション21

環境活動レポート



対象期間 2022年4月～2023年3月

発行日：2023年6月26日



山形警備保障株式会社

目次

1.	組織の概要	3
	1. 事業所名及び代表者名	
	2. 事業内容	
	3. 所在地と連絡先	
	4. 事業の規模	
2.	対象範囲と対象取組期間	3
	1. 認証・登録範囲	
	2. 活動レポートの対象期間	
3.	エコアクション21実施体制	4
4.	環境経営方針	5
5.	環境経営目標	6
	1. 環境経営目標の策定	
	2. 環境経営目標（短期・中長期）の設定	
6.	環境経営計画	7
	1. 二酸化炭素排出量の削減	
	2. 廃棄物排出量の削減と適正管理	
	3. 総排水量の削減	
	4. 自らが提供するサービスの改善	
	5. グリーン購入	
	6. 山形 EA21 関連	
7.	環境経営目標の実績と評価	9
	1. 二酸化炭素排出量	
	2. 廃棄物排出量	
	3. 総排水量・水使用量	
	4. 自らの活動に関する項目	
8.	環境経営計画の取組結果とその評価と次年度の取組内容	12
	1. 環境活動計画の取組状況の評価	
	2. 次年度の取組内容	
9.	環境関連法規等の遵守状況のチェック結果	13
10.	代表者による全体評価と見直しの結果	14
	1. 環境経営システムの有効性の評価	
	2. 環境経営システム変更の必要性	
	3. 次年度以降の取組の方向性	

1. 組織の概要

1-1. 事業所名及び代表者名

- 山形警備保障株式会社
- 代表取締役 我妻 壽一 (ワガツマ ジュイチ)

1-2. 事業内容

- 警備業 (機械警備・常駐警備・現金輸送警備業務)

1-3. 所在地と連絡先

- 本社 〒990-2481 山形県山形市あかねヶ丘一丁目 3-34
- 庄内支社 〒998-0102 酒田市京田 1 丁目 2-7
- 東根(営) 〒999-3782 東根市本丸西三丁目 7-28
- 寒河江(営) 〒991-0003 寒河江市大字西根字上川原 171
- 天童(分駐所) 〒994-0013 天童市老野森 2-1
- 流通センター (分駐所) 〒990-0071 山形市流通センター二丁目 3
- 西部工業団地 (分駐所) 〒990-2351 山形市鑄物町 10
- 上山 (分駐所) 〒999-3124 上山市金生一丁目 2-3
- 連絡先 TEL 023-643-1266 FAX 023-643-0898
- 担当者 環境管理責任者 向田 匡利

1-5. 事業の規模

- 従業員数 : 198 人/全社 (パート含む)
- 年間売上 : 8 億 4 千万円

2. 対象範囲と対象取組期間

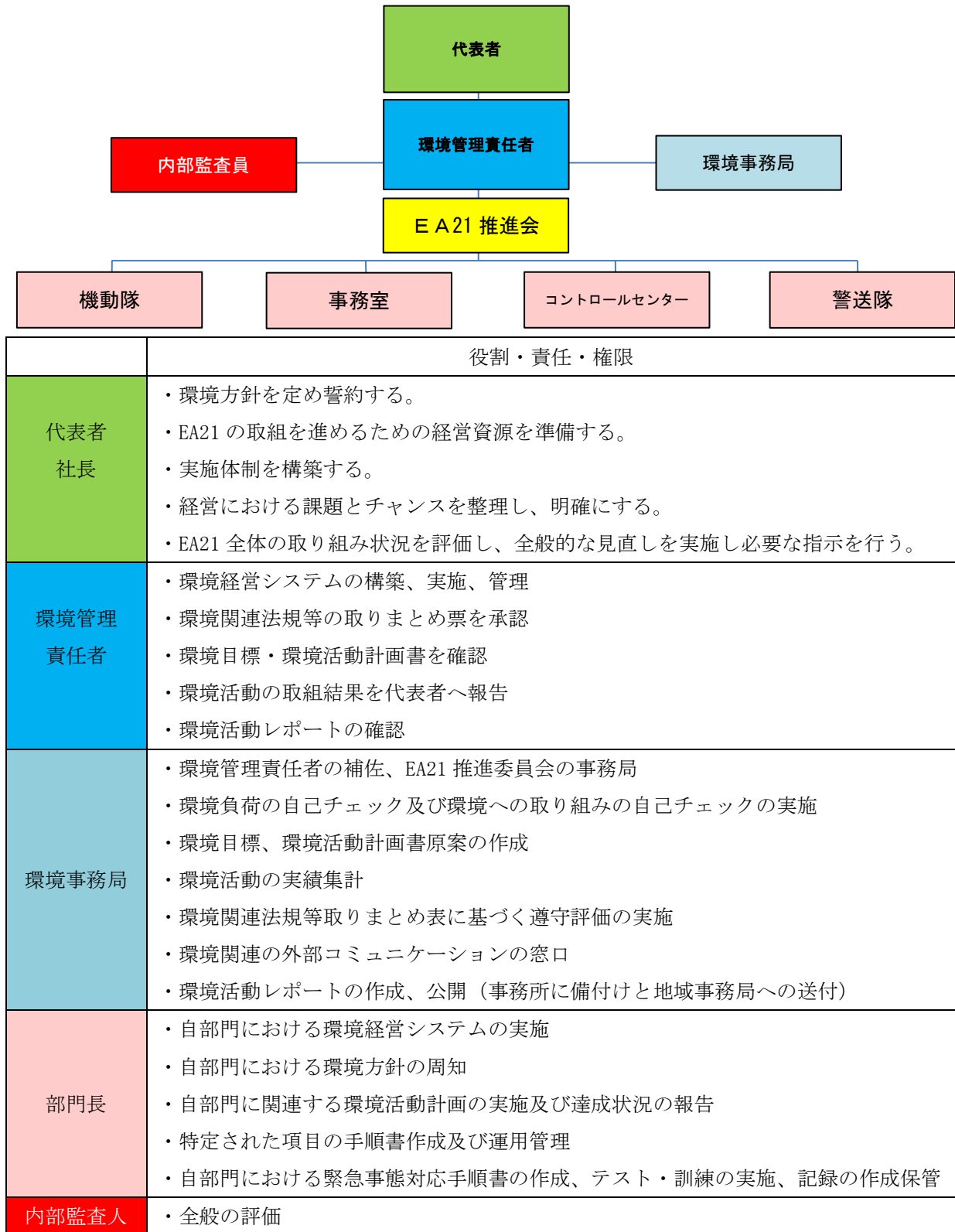
2-1. 認証・登録範囲

- (1) 取組の対象組織 全組織
- (2) 取組の対象活動 業務全般

2-2. 環境活動レポートの対象期間

2022 年 4 月～2023 年 3 月

3. エコアクション21実施体制



全従業員は環境方針と環境への取り組みの重要性を自覚し決められたことを守り、自主的積極的に環境活動へ参加する。

4. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

基本理念

山形警備保障株式会社は、「お客様に大きな安心を」を基本理念に、機械警備業務、施設警備業務、交通誘導業務、現金輸送業務等の事業活動をする中で、電気、石油類及び紙類などのエネルギーや資源の消費、さらに各種廃棄物の発生を伴います。私たちは、地球環境の保全が企業経営の最重要課題であると位置づけ、環境マネジメントシステムを導入し、環境負荷削減を目的とした継続的な取組みを実施します。

行 動 指 針

- 1.エコドライブの実践や省エネ等により、
二酸化炭素排出量の削減目標を定め削減に取り組みます。
- 2.環境関連の法律、規則、条例及びその他の決まりを遵守します。
- 3.適切な廃棄物の分別を行い、廃棄物の削減に取り組みます。
- 4.水資源の有効利用のため、節水に取り組みます。
- 5.環境マネジメントシステムの構築・維持とすべての従業員への環境教育、
社内啓発活動を実施します。
- 6.地域の環境保全に努めます。

平成 25 年 10 月 1 日制定

平成 29 年 5 月 1 日改定



山形警備保障株式会社

代表取締役社長 我妻 壽一

5. 環境経営目標

5-1. 環境経営目標の策定

当社は、昭和43年6月に株式会社山形ビルサービスの警備部門として設置され、翌年44年7月に会社として独立いたしました。ビルメンテナンス業である親会社の山形ビスサービスではすでにISO14001を取得しておりますが、当社としては、温暖化防止、環境負荷の低減に取り組んでまいります。

目標の策定においては、2017年度を基準とすることにしました。

5-2. 環境経営目標（短期・中長期）の設定

	単年度目標	中長期目標
	2022年度 (4月～3月)	2023年度 (4月～3月)
二酸化炭素 排出量	2017年度4月-3月比 3.0%削減	2017年比 3.0%削減
廃棄物 排出量	2017年度4月-3月比 3.0%削減	2017年比 3.0%削減
総排水量 (水使用量)	2017年度4月-3月比 3.0%削減	2017年比 3.0%削減
自らが提供する サービスの改善	体温観測付顔認証システム（2020年実績 8台） ※コロナウイルスが落ち着くまで目標を設定しない	
グリーン購入の推進	事務消耗品 90% 以上	事務消耗品 90%
地域環境保全への協力	地域の清掃活動 1回/月	地域の清掃活動継続

6. 環境経営計画

6-1. 二酸化炭素排出量の削減

1) 消費電力の削減

- ・室温は、暖房期 20℃、冷房期 28℃で管理する
- ・定期的にエアコンのフィルターを清掃する
- ・ unnecessary 照明は消す
- ・照明器具 LED 化

2) ガソリン・軽油使用量の削減

- ・エコ運転の教育研修
- ・アイドリング停止の徹底
- ・タイヤの空気圧を定期的に調整する
- ・車両点検などで運行記録を把握する
- ・経済速度の遵守

3) その他化石燃料の削減

- ・定期的にファンヒーターのフィルターを清掃する
- ・室温は、暖房期 20℃で管理する
- ・ウォームビスの実施

6-2. 廃棄物排出量の削減と適正管理

1) 一般廃棄物の削減（リサイクルの推進）

- ・分別ルール確立と周知徹底
- ・廃棄物置場のリニューアル
- ・コピー用紙削減（両面コピー・裏紙利用の徹底）

2) 産業廃棄物の適正管理

- ・保管場所の管理
- ・マニフェスト・契約書類の管理
- ・委託先の状況確認

6-3. 総排水量の削減

1) 水道使用量の削減

- ・トイレ流水量の調整
- ・手洗い時の節水（掲示）

2) 地下水の適正利用

- ・水量の調整

6-4. 自らが提供するサービスの改善

体温観測付顔認証システム

- ・ 顔認証システムを活用した顧客への警備の提案

6-5. グリーン購入

- ・ グリーン購入ネットワーク（GPN）商品（エコ商品）の選定
- ・ 事務消耗品のエコ商品購入率の把握
- ・ 車両・設備・機械等購入時のルール確立

6-6. 山形 EA21 関連

- ・ 会社周辺道路のごみ拾い、側溝清掃、草刈りなどの実施

7. 環境経営目標の実績と評価

	2017年度 実績（基準値）	2022年度			
		目標値	実績 （基準値増減）	基準値 増減率	評価
■二酸化炭素排出量	270,568 kg-CO2/年	2017年度比 3.0%削減 262,451 kg-CO2/年	239,464 kg-co02/年 (-31,104)	-11.5%	◎
・電気使用量	111,058 kwh/年	2017年度比 3.0%削減 107,726 kwh/年	117,148 kwh/年 (+6,090)	+5.4%	△
・軽油	4,556 L/年	2017年度比 3.0%削減 4,419 L/年	4,349 L/年 (-207)	-4.5%	○
・ガソリン	73,939 L/年	2017年度比 3.0%削減 71,721 L/年	59,905 L/年 (-14,034)	-18.9%	◎
・灯油	6,664 L/年	2017年度比 3.0%削減 6,464 L/年	9,449 L/年 (+2,785)	+41.8%	×
・LPG	267 kg/年	2017年度比 3.0%削減 259 kg/年	214 kg/年 (-164)	-19.9%	◎
■総排水量 （水使用量）	455 m3/年	2017年度比 3.0%削減 441 m3/年	372 m3/年 (-83)	-18.2%	◎
■一般廃棄物排出量	819 kg/年	2017年度比 3.0%削減 794 kg/年	994 kg/年 (+175)	+21.3%	×
■産業廃棄物	2,315 kg/年	2017年度比 3.0%削減 2,245 kg/年	1,390 kg/年 (-925)	-39.9%	◎
■自らが提供する サービスの改善	2020年度は8台		0 台		×
■グリーン購入の 推進	90%以上	事務消耗品 90%以上を掲げる予定	—	—	—
■地域環境保全への協力	地域の清掃活動 8回/年	2017年同様継続	地域の清掃活動 — /年		—

※ ◎…-10%以上 ○…-10%未満～0%以上 △…0%未満～+10%未満 ×…+10%以上

※電力の二酸化炭素排出係数は、東北電力の2016年度の値（0.553kg-CO2/kwh）を使用。

7-1. 二酸化炭素排出量

1) 全体（目標：3.0%削減）

二酸化炭素排出量（軽油・ガソリン含む）は、基準値に対し11.5%減少いたしました。ガソリン・LPG・産業廃棄物の減が主要な要因です。

※電力の二酸化炭素排出係数は、東北電力の2016年度の値（0.553kg-CO₂/kwh）を使用。

2) 電気使用量（目標：3.0%削減）

電気使用量は、基準値に対し5.4%と増加いたしました。コロナウィルス感染症対策で、窓等を解放したまま冷暖房の運転を使用していた事が原因かと思われます。

3) 軽油使用量（目標：3.0%削減）

軽油使用量は、基準値に対し4.5%減少いたしました。主に設備部の車両に軽油車を使用しております。庄内地方の機械警備の工事量などに左右されます。

4) ガソリン使用量（目標：3.0%削減）

ガソリン使用量は、基準値に対し18.9%と大きく減少しました。

減少した理由に、巡回業務の見直しとハイブリッド車の導入（2019年11月から）とエコドライブの実践が挙げられます。

5) 灯油使用量（目標：3.0%削減）

灯油使用量は、基準値に対し41.8%と大きく増加しました。冬季間の寒波の影響、コロナウィルス感染症対策で出入口解放のまま冷暖房を運転していた事などが原因です。

6) LPガス使用量（目標：3.0%削減）

LPガス使用量は、基準値に対し19.9%減少いたしました。

コロナウィルス感染対策である湯茶接待の廃止や、既に定着している給湯器及びガスコンロの適正使用によるものと考えます。

7-2. 廃棄物排出量

1) 一般廃棄物（目標：3.0%削減）

基準値に対し、21.3%増加いたしました。人員数の増加、コロナ過で導入したペーパータオルの使用済み廃棄分などが増加の原因と考えられます。

2) 産業廃棄物（目標：3.0%削減）

基準値に対し39.9%減少いたしました。警備機器の入れ替えの量に左右されます。

7-3. 総排水量・水使用量（目標：3.0%削減）

基準値に対し、18.2%削減しました。節水が浸透しております。

7-4. 自らの活動に関する項目

1) 山形スマートドライバーへの参加

山形スマートドライバー運動に参加しており、会社所有の全車両にスマートドライバーステッカーを貼付しています。車両運転者は1975年に制定した「運転の誓い」を遵守し無事故運転に努めるとともに、思いやり運転に心掛け「急発進、急ハンドル、急ブレーキ」の3つの「急」のつく運転は行わないようにしております。

新規顧客先が多くなれば必然的に走行距離も増加しますが、警備員現任教育（法定教育年1回）などを利用しエコドライブの教育などを実施しております。また車の買い替え時、燃費の良い車両を導入します。（2019年11月ハイブリッド車導入）

2) グリーン購入

データ量は把握しておりませんが、今後事務用品以外も購入していきます。

3) 地域の清掃活動

企業行動憲章の一つに“地域社会における企業市民としての責任を自覚し、積極的に社会貢献活動を行う”ことを掲げています。毎月第3土曜日の朝6時から町内会清掃があり、その際は社員も参加し、草刈りや落葉集めを行っております。

(2017年2月10日、山形市を美しくする運動推進委員会(会長 山形市長)から、多年にわたる地域美化活動に対し功労表彰を受賞しています。)

2022年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため見合わせております。



「あかねヶ丘公園の清掃活動」

4) 紙のリサイクル

コインパーキング管理業務に伴い、多くの使用済み駐車券が発生します
これら用紙を一般廃棄ゴミに出さず直接溶解処理工場に持ち込み処理しています。

8. 環境活動計画の取組結果とその評価と 次年度の取組内容

8-1. 環境活動計画の取組状況の評価

[評価区分] ◎・・・良くてきた ○・・・できた △・・・やや不十分 ×・・・不十分

活動・取組項目	活動の具体的内容	評価	
二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	・不要照明の消灯	△
		・照明器具の改善	◎
		・O A機器 家電製品の待機電力の削減	○
		・冷暖房の温度管理 (冬20℃、夏28℃)	○
		・冷房機器の清掃	○
		・冷暖房の環境向上	◎
	■エコ運転の実施	・経済速度の厳守	◎
		・運転記録票の記載	◎
・アイドリング時間の削減		○	
・エコドライブの教育研修		◎	
産業廃棄物排出量の削減	■廃棄物分別の徹底	・分別の徹底	○
		・廃棄物置の整理	◎
		・リサイクルの徹底	○
	■紙使用の削減	・印刷物の削減	○
		・用紙の裏紙使用	◎
		・シュレッダーの削減	◎
総排水量の削減	■水道使用量の削減	・手洗い時の節水	◎
		・トイレタンクの節水	◎
の削減	■地下水の適正使用	・利用目的に応じた適正使用 (洗車)	◎
		グリーン購入	■グリーン購入の推進
サービスの改善	■体温観測付顔認証システムの提案	・販売推進活動	×
エコ関連	■環境保全	・公園清掃活動	保留

8-2. 次年度の取組内容

■二酸化炭素排出量の削減	・クールビズ・ウォームビズの啓蒙
	・エコカーの導入計画
	・全社社内照明LED化計画
	・エコドライブの徹底
■廃棄物排出量の削減	・リサイクル品の分別徹底
	・ペーパーレス化の推進
■水使用量の削減	・節水グッズの導入
	・節水の徹底
■自らが提供するサービスの改善	・社員のスキルアップ (資格取得へ向けての社内訓練、合格率統計)
■グリーン購入	・グリーン用品の購入
■社会貢献	・環境活動に積極的に参加

9. 環境関連法規等の遵守状況のチェック結果

適用法令	適用範囲	法規の要求事項	結果
下水道法	有機物質又は油を排出した時	事故の届け出	○
消防法	事故の処置	消防署への通報	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物、産業廃棄物	保管場所表示、保管基準の厳守	○
		運搬・処分業者との委託契約	○
		マニフェストの交付・回収	○
		マニフェストの交付状況の報告	○
リサイクル関連	テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機	廃棄時リサイクル料負担	○
		適正処理	○
	自動車	新車購入時リサイクル料負担	○

環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありませんでした。

関係機関からの違反等の指摘は過去3年間、1件もありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

10-1. 環境経営システムの有効性の評価

2022年度の「二酸化炭素排出量」は、2017年度(基準年)比11.5%減となり目標値を達成しました。使用量の項目ごとで見ると、ガソリン使用量は基準年比18.9%減、LPG使用量は基準年比19.9%減で削減目標を大きく上回りました。エコドライブの定着やコロナウィルス感染対策による湯茶接待の廃止などが要因であると考えられます。

廃棄物の排出量は一般廃棄物排出量が基準年比21.3%増となりました。これは関係人員数(事務所、コントロールセンター、機動警備隊、現金輸送業務隊)の増加や、使用済みペーパータオルの廃棄などコロナ過特有のものによる増加の可能性などが考えられます。産業廃棄物排出量は基準年比39.9%減と削減目標を大きく上回りました。この数値は契約先の機器撤去、入れ替えなどが最も大きく影響するため、機器の処分が少ない年だったと考えられます。

ここ数年の二酸化炭素排出量ですが、2019年から2021年でそれぞれ-10.4%、-8.9%、-11.2%と順調に削減されてきており、私たち社員は、環境負荷の削減に真剣に取り組む意識を定着させつつあります。

10-2. 環境経営システム変更の必要性

環境経営方針 : 継続

環境経営目標 : 継続

環境活動計画 : 継続

環境経営システム : 継続

10-3. 次年度以降の取組の方向性

- ◇ レーザープリンターによるカラー出力は大幅に削減する事ができました。しかし、気の緩みから元の数値に戻ってしまわぬように注意喚起を継続していくと共に、紙自体の出力枚数の削減へも取り組んでいきます。
- ◇ 電気料金の値上げが公表されております。値上げによる電気料金の増加に直面するなかで、これまで以上に無駄な電力を消費しないよう社員全員で努力し、コストを抑えると同時に環境への貢献を追求していきます。
- ◇ ロボットやドローンの警備は環境負荷の少ない警備である場合がほとんどです。当社でも参考にさせていただき、提供するサービスの改善につなげていきたいと考えております。推進委員または機械設備班のセキュリティショーへの参加を積極的に進めていきます。